

セーフティーロックの誤作動により引き出しが開かなくなった場合は、下記の方法で解除してください。

※下記の方法で解除できない場合は、製品をご購入いただきました販売店にお問い合わせください。

通常タイプ

お手元にキーがある場合：

施錠して解錠すればセーフティーロックが解除できます。

※2010年3月以前に製造したものは解除できません。その場合は『解除方法1』を参照してください。

お手元にキーがない場合：

『解除方法2』を参照してください。

※製造時期によっては、丸穴が開いていない場合があります。その場合は『解除方法1』を参照してください。

各段施錠タイプ

『解除方法2』を参照してください。施錠・解錠してもセーフティーロックは解除できません。

解除方法1

①最上段の引き出しを引いてください。



セーフティーロックが誤作動した場合でも、引き出しはわずかに開きます。

②左右で隙間が大きい方の固定ビス（真ん中）をはずしてください。



③鏡板の上部をゆっくり手前に引っ張り、手を差し込んでください。



隙間が狭く、手が入らない場合は、下のビスもはずすと隙間がより大きくなります。

④差し込んだ手で本体内側のレバーを持ち上げると、セーフティーロックが解除できます。



引手のレバーを引いてゆっくり引き出しを開け、樹脂部品に変形や破損がないか確認してください。はずしたビスを元の位置に締めて、引き出しを組み立ててからゆっくり閉めてください。

解除方法2

①最上段の引き出しを引いてください。

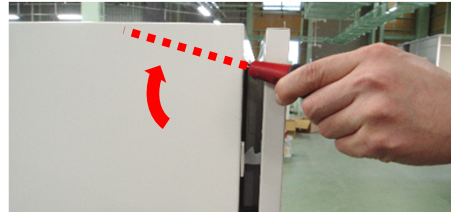


セーフティーロックが誤作動した場合でも、引き出しはわずかに開きます。

②左右で隙間が大きい方のプラキャップを取り外してください。



③丸穴に+ドライバーを挿入し、+ドライバーの先端を持ち上げると、セーフティーロックが解除できます。



解除後は、引き出しを開いてプラキャップを取り付けてください。